

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第86期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	ボーソー油脂株式会社
【英訳名】	BOSO OIL&FAT CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 片岡 治男
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本石町四丁目5番12号
【電話番号】	03-3241-4226（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部企画経理部長 川崎 薫
【最寄りの連絡場所】	千葉県船橋市日の出2丁目17番1号
【電話番号】	047-433-5552
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部企画経理部長 川崎 薫
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第１【企業の概況】

１【主要な経営指標等の推移】

回次	第85期 第３四半期連結 累計期間	第86期 第３四半期連結 累計期間	第85期
会計期間	自平成24年 ４月１日 至平成24年 12月31日	自平成25年 ４月１日 至平成25年 12月31日	自平成24年 ４月１日 至平成25年 ３月31日
売上高（千円）	14,331,539	15,189,077	19,209,709
経常損失（ ）（千円）	55,424	121,125	64,211
四半期（当期）純損失（ ）（千円）	46,441	68,206	61,378
四半期包括利益又は包括利益（千円）	37,560	44,182	27,387
純資産額（千円）	4,373,442	4,260,359	4,383,529
総資産額（千円）	11,898,811	11,493,486	11,460,632
１株当たり四半期（当期）純損失金額（ ）（円）	2.94	4.32	3.89
潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	-	-	-
自己資本比率（％）	36.74	37.05	38.23
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	47,049	48,867	30,000
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	232,565	110,299	265,232
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	48,484	268,819	93,216
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（千円）	1,204,674	1,062,910	953,257

回次	第85期 第３四半期連結 会計期間	第86期 第３四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 10月１日 至平成24年 12月31日	自平成25年 10月１日 至平成25年 12月31日
１株当たり四半期純利益金額（円）	3.64	1.03

（注）１．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

２．売上高には、消費税等は含んでおりません。

３．潜在株式調整後１株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

２【事業の内容】

当第３四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行の金融緩和を背景として円安・株高が進むとともに、輸出関連企業を中心に企業業績が上向くなど穏やかな回復基調となりました。一方、個人消費の本格回復は遅れており、消費税増税の影響が懸念されるなど景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

植物油業界におきましては、それまで高騰を続けてきた海外原料穀物価格が昨年夏場ごろからようやく低下傾向となりましたが、円安の影響を受けて依然として高値圏にあり、猛暑の影響などから油脂需要が伸び悩む厳しい経営環境が続きました。

こうした状況の中で、当社グループでは、顧客ニーズに合わせたきめ細かな営業活動を展開し、油脂製品ではナタネ油の販売数量は減少いたしました。コメ油や工業油の販売数量は増加し、油粕についても生産にあわせた適切な販売数量を確保することができ、石鹸化粧品につきましても、販売数量の増加を図ることができました。加えて、油脂製品や油粕製品の価格上昇により売上高は前年同期を上回ることができました。

なお、収益面におきましては、原料コストの上昇を反映した価格改定が十分に実現できず第2四半期まで期間収益の赤字が続いておりましたが、全社的なコスト削減の取り組みを強化する中で、海外原料穀物価格が低下したため、第3四半期の期間収益は黒字回復となりました。しかしながら、それまでの累積赤字が大きかったことにより、累計では赤字計上のやむなきに至りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における営業成績は、売上高15,189百万円（前年同四半期は14,331百万円）、経常損失121百万円（前年同四半期は経常損失55百万円）、四半期純損失68百万円（前年同四半期は四半期純損失46百万円）となりました。

なお、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首残高より109百万円増加しましたので、1,062百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において、営業活動の結果使用した資金は48百万円（前年同四半期は47百万円の獲得）となりました。主な増加の理由は、減価償却費272百万円、棚卸資産の減少額142百万円、主な減少の理由は、税金等調整前四半期純損失121百万円、役員退職慰労引当金の減少額87百万円、売上債権の増加額146百万円、仕入債務の減少額90百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は110百万円（前年同四半期は232百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において、財務活動の結果獲得した資金は268百万円（前年同四半期は48百万円の獲得）となりました。これは主に借入金による収入によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、73百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	16,060,000	16,060,000	(株)東京証券取引所 市場第二部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1,000株であります。
計	16,060,000	16,060,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	16,060	-	1,351,300	-	814,596

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 280,000	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 15,735,000	15,735	-
単元未満株式	普通株式 45,000	-	-
発行済株式総数	16,060,000	-	-
総株主の議決権	-	15,735	-

（注） 「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 （％）
ボーソー油脂(株)	東京都中央区日本橋 本石町四丁目5番1 2号	280,000	-	280,000	1.74
計	-	280,000	-	280,000	1.74

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,043,376	1,125,029
受取手形及び売掛金	4,113,031	4,259,885
商品及び製品	561,129	621,341
仕掛品	465,221	295,927
原材料及び貯蔵品	781,831	748,129
その他	188,605	233,458
貸倒引当金	4,694	4,815
流動資産合計	7,148,501	7,278,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	571,717	542,100
機械装置及び運搬具（純額）	1,460,299	1,384,666
土地	1,519,067	1,519,067
その他（純額）	31,003	21,870
建設仮勘定	11,319	9,678
有形固定資産合計	3,593,407	3,477,383
無形固定資産	43,381	40,568
投資その他の資産		
投資有価証券	213,557	249,699
その他	461,803	446,878
貸倒引当金	19	-
投資その他の資産合計	675,341	696,578
固定資産合計	4,312,131	4,214,529
資産合計	11,460,632	11,493,486

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,344,373	3,253,391
短期借入金	1,478,050	1,673,350
未払法人税等	12,342	10,979
賞与引当金	116,547	59,441
その他	450,709	489,981
流動負債合計	5,402,022	5,487,144
固定負債		
長期借入金	757,300	914,800
退職給付引当金	517,050	521,692
役員退職慰労引当金	166,253	78,560
負ののれん	6,940	4,963
その他	227,536	225,965
固定負債合計	1,675,081	1,745,983
負債合計	7,077,103	7,233,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,351,300	1,351,300
資本剰余金	814,596	814,596
利益剰余金	2,205,496	2,058,388
自己株式	49,498	49,584
株主資本合計	4,321,894	4,174,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,613	83,486
その他の包括利益累計額合計	59,613	83,486
少数株主持分	2,021	2,172
純資産合計	4,383,529	4,260,359
負債純資産合計	11,460,632	11,493,486

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	14,331,539	15,189,077
売上原価	12,689,075	13,656,493
売上総利益	1,642,464	1,532,584
販売費及び一般管理費	1,692,570	1,634,163
営業損失()	50,105	101,579
営業外収益		
受取利息	694	480
受取配当金	5,878	4,652
持分法による投資利益	-	419
負ののれん償却額	1,977	1,977
受取手数料	1,517	1,829
受取補償金	18,887	2,929
雑収入	7,148	10,636
営業外収益合計	36,104	22,925
営業外費用		
支払利息	33,964	33,418
持分法による投資損失	1,052	-
支払手数料	3,264	3,264
その他	3,140	5,786
営業外費用合計	41,422	42,470
経常損失()	55,424	121,125
特別利益		
固定資産売却益	-	333
特別利益合計	-	333
特別損失		
固定資産除却損	532	504
特別損失合計	532	504
税金等調整前四半期純損失()	55,956	121,296
法人税、住民税及び事業税	18,074	10,909
法人税等調整額	28,212	64,150
法人税等合計	10,138	53,241
少数株主損益調整前四半期純損失()	45,817	68,055
少数株主利益	623	151
四半期純損失()	46,441	68,206

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	45,817	68,055
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	8,257	23,872
その他の包括利益合計	8,257	23,872
四半期包括利益	37,560	44,182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,183	44,333
少数株主に係る四半期包括利益	623	151

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 ()	55,956	121,296
減価償却費	255,349	272,079
負ののれん償却額	1,977	1,977
退職給付引当金の増減額 (は減少)	16,016	4,642
賞与引当金の増減額 (は減少)	55,273	57,105
役員退職慰労引当金の増減額 (は減少)	2,127	87,692
貸倒引当金の増減額 (は減少)	370	102
持分法による投資損益 (は益)	1,052	419
受取利息及び受取配当金	6,573	5,133
支払利息	33,964	33,418
固定資産除却損	532	504
固定資産売却損益 (は益)	-	333
売上債権の増減額 (は増加)	292,845	146,853
たな卸資産の増減額 (は増加)	220,297	142,783
仕入債務の増減額 (は減少)	544,782	90,982
未払消費税等の増減額 (は減少)	70,280	23,857
未払費用の増減額 (は減少)	5,201	3,685
その他	3,089	27,152
小計	159,283	10,938
利息及び配当金の受取額	6,573	5,133
利息の支払額	33,829	33,794
法人税等の支払額	84,978	9,268
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,049	48,867
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	89,560	41,560
定期預金の払戻による収入	89,560	69,560
投資有価証券の取得による支出	1,085	1,128
有形固定資産の取得による支出	222,055	129,803
無形固定資産の取得による支出	1,300	7,522
貸付けによる支出	2,000	-
貸付金の回収による収入	3,050	18,600
その他	9,174	18,444
投資活動によるキャッシュ・フロー	232,565	110,299
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,515,000	2,800,500
短期借入金の返済による支出	1,377,000	2,605,500
長期借入れによる収入	325,000	480,000
長期借入金の返済による支出	330,400	322,200
自己株式の取得による支出	42	86
配当金の支払額	79,248	78,856
その他	4,824	5,037
財務活動によるキャッシュ・フロー	48,484	268,819
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	137,031	109,652
現金及び現金同等物の期首残高	1,341,706	953,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,204,674	1,062,910

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形割引高	126,878千円	91,082千円
受取手形裏書譲渡高	5,388	-

2. 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	- 千円	610千円
支払手形	10,992	6,604
割引手形	196,649	14,634

3. 当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行4行とコミットメントライン契約を締結しております。当契約には一定の財務制限条項が付されております。なお、この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
コミットメントライン契約の総額	1,500,000千円	1,500,000千円
借入実行残高	-	225,000
差引額	1,500,000	1,275,000

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
現金及び預金勘定	1,294,793千円	1,125,029千円
預入期間が3か月を超える定期預金	90,118	62,118
現金及び現金同等物	1,204,674	1,062,910

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	78,906	5.0	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	78,901	5.0	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める油脂部門及びその副産物である油粕部門の製造及び販売事業の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める油脂部門及びその副産物である油粕部門の製造及び販売事業の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
1 株当たり四半期純損失金額 ()	2円94銭	4円32銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額 () (千円)	46,441	68,206
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額 () (千円)	46,441	68,206
普通株式の期中平均株式数 (株)	15,781,122	15,780,006

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月6日

ボーソー油脂株式会社

取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 金城 保 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 恩田 正博 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているボーソー油脂株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ボーソー油脂株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。